

平成27年度
松戸市社会教育計画年度報告書

基本目標 1

➤ 市民の多様なニーズに応え、地域の課題や歴史・文化・伝統に気付く学習機会の充実

施 策	
(1) 地域の特色の活用や課題解決に資する学習機会の提供と専門的職員の資質向上・適切な配置	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 多様化する学習ニーズに合わせ、市民自ら学習したいテーマを提案する。また地域研究や地域課題をテーマとしてグループを作り、自主的に活動するなど市民の学習意欲は高く、地域に根ざした質の高い学習内容となっており、郷土へ興味関心を持つ市民が増えてきている。</p> <p>◎課題 市民の潜在的なニーズを掘り起こして学びの場をコーディネートできる職員の養成。また地域に関心を持つ市民の増加により市民学習グループが増え、その活動支援としての連携講座に関わる職員の負担が大きくなり、生涯学習推進課主催の成人講座等の開催にも支障が出ている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習機会提供事業 (各種講座開催) ・社会教育活動支援事業 <p>(生涯学習推進課)</p>
<p>◎現状 これからの図書館は、高度化する利用者のニーズに適切に対応できる知識、経験を持った専門職(司書)が不可欠であるが、専門職の割合は県内平均を大きく下回っている。</p> <p>◎課題 今後予想されるベテラン司書の退職や新図書館建設など、松戸市立図書館を取り巻く環境の変化に対応するには、司書の計画的な配置や人材育成が急務である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館管理運営事業 <p>(図書館)</p>
<p>◎現状 専門的職員の資質向上については、派遣研修計画に基づき各課に研修予算の配分を行い、一定の研修機会は確保できている。</p> <p>◎課題 専門的職員の配置に関しては、今後の社会教育行政における市民の学習・参画活動を充実するために適切な、配置人数、任用形態などを十分に検討する必要がある。また、今後5年程度の間には学芸員が定年となることから、人材の確保及び育成が課題となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育専門的職員の資質向上・適切な配置 <p>(担当課共通)</p>

施 策	
(2) 勤労者や学生などのライフスタイルに対応した学習機会の提供	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 働く人々やより幅広い層の人々も参加しやすい夜間や週末に成人講座を開催するが、多様化する学習ニーズとともにライフスタイルも多種多様であるため講座設定が難しい。</p> <p>◎課題 学生など若い世代が興味を持つ学習テーマの設定や、参加しやすい講座の日時設定などが求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習機会提供事業 (基礎学力再履修講座) ・学習機会提供事業 (各種講座開催) <p>(生涯学習推進課)</p>
施 策	
(3) 障がい者や高齢者、介護中、育児中など学習に参加しにくい人への支援	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 宅配や施設巡回など、図書館のアウトリーチサービスは一定の評価がある。一方、多くの図書館で実施している視覚障害者等への録音図書の貸出等のサービスは行っていない。</p> <p>◎課題 対面朗読室や録音図書作成室など施設面で環境が整っていないこともあり、今後、既に市内でサービスを行っている市民団体との協定を視野に新たな障害者サービスの検討が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館管理運営事業(身体障害者図書貸出等) <p>(図書館)</p>
<p>◎現状 高齢者には、まつど生涯学習大学講座提案委員会にて自らが学習したいジャンル、テーマを提案し講座を開催するため、ニーズに沿った学習ができています。また家庭教育学級や幼児教育講演会を開催する際に一時保育を実施し、育児中の人々にも参加しやすくしています。</p> <p>特別支援学級を卒業した人を対象に青年学級を開催し、自立・余暇活動の充実、仲間づくりの場となり、社会的連帯感を高める機会となっている。</p> <p>◎課題 参加者がある程度固定化されている。より多くの人に参加してもらうための働きかけ・情報発信が求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年活動支援事業 ・学習機会提供事業 (各種講座開催) ・家庭教育力向上事業(子育て学習開催) <p>(生涯学習推進課)</p>

施 策

(4) 松戸の歴史・文化・伝統を学習する活動の推進

現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 松戸の歴史・文化・伝統を知るうえでランドマークともなる指定文化財が、国、県、市、合わせて52件あり、マップの作成、史跡めぐり、標柱・案内板の作成などを行っているが、知らない方もまだ多くいる。</p> <p>また、文化の香りのする街づくりの一環として、森のホール21エントランスホールにおいて「松戸の作家の個展」を開催し、市内の美術家を紹介するとともに、松戸ゆかりの作家の美術作品の展覧会を開催しているが、収蔵品を常設展示できる場所がないため、未公開の作品が多くある。</p> <p>◎課題 松戸の歴史・文化を少しでも多くの市民に関心をもってもらうため、既存の事業にとらわれず、いかに周知していくか。また、現在美術品を展示できる場所が限られていることから、いかにして、新たな場所を確保していくかが課題となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護事業 ・美術文化関係事業 <p style="text-align: center;">(社会教育課)</p>
<p>◎現状 平成27年3月に旧徳川昭武庭園が国の名勝に指定されたことと連動し、敗者の明治維新をテーマにした企画展「将軍とプリンス」や戸定アートプロジェクト等の開催により、入館者数は24年度から年々増え、同年比で27年度は55%増である。しかしながら、桜の開花や紅葉等の繁忙期には、駐車場やトイレが不足するほか、歴史公園に至る「みその坂」や園内スロープの傾斜がきついため、高齢者や車椅子利用者にとっては、使いにくい施設となっている。</p> <p>◎課題 駐車場やトイレなどの施設容量の改善や、バリアフリー化が課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・戸定歴史館管理運営事業 <p style="text-align: center;">(戸定歴史館)</p>
<p>◎現状 総合展示・主題展示・映像展示・野外展示で構成される展示事業については一定の評価がある一方で、博物館資料に関する情報のデジタル化やデジタルメディアによる公開事業は他の博物館に比して著しく遅れている。</p> <p>◎課題 館蔵資料の整理作業や目録化作業等、博物館活動の基礎となる事業に人的資源を投入し、博物館資料の情報を公開する方策の検討が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館展示事業 ・博物館学習支援事業 ・博物館歴史資産収集調査事業 ・市史編さん事業 <p style="text-align: center;">(博物館)</p>

<p>◎現状 本館3Fを中心として、郷土資料を収集・保存し利用者へ提供しているが、郷土資料の多くが貸出禁止の館内閲覧のみの資料であるため、本館へ来館しなければ利用できず不便である。</p> <p>◎課題 今後は、松戸市立博物館等の関係部署と協議しながら、特に松戸市の郷土資料のデジタル化に取り組み、本館に来館しなくても閲覧できる環境の整備を図る必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館管理運営事業（郷土資料提供） <p>（図書館）</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

施 策

（5）人間としての尊厳を大切にした多文化共生の学習機会の提供

現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 まつど生涯学習大学講座、市民大学講座において人間の尊厳を考える人権学習を開催するが、参加年齢層が固定化している。 青少年会館では、国際交流事業として諸外国の生活や文化・風習に触れることができる青少年教室を開催し好評である。</p> <p>◎課題 幅広い年齢層に参加してもらうためにさらなるPRが必要である。 国際交流事業は、東京オリンピック・パラリンピックに向け更なる充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習の推進 ・青少年会館学習機会提供事業 ・おもてなしボランティア養成事業 <p>（生涯学習推進課）</p>

施 策

（6）市内各大学や民間団体などと連携した学習機会の提供

現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 地元大学との連携で現代社会の様々な課題や生活課題を取り上げ専門性の高い内容のものを開催するため市民には概ね好評である。また、各大学内の施設を会場とするため募集人員を増やすことができた。</p> <p>◎課題 募集人員を増やしたことにより、より一層のPRが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習機会提供事業（各種講座開催） ・地元の大学との連携方策の検討 <p>（生涯学習推進課）</p>

基本目標2

➤ 市民を惹き付け、広く行き渡る情報提供・相談

施 策	
(1) 情報の周知、情報を得る方策への配慮	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 後援承認した行事 236 件のうち 115 件はポスターの掲出申請があり、市民センターや社会教育施設に掲出を依頼し、当該行事の周知に努めた。</p> <p>◎課題 課題は、ポスター掲出申請について積極的に情報提供していないことが挙げられる。後援申請時にポスター掲出についても話をすることを徹底する。</p>	<p>・行事開催に伴うポスター掲示 (担当課共通)</p>
<p>◎現状 市のホームページ、広報紙をはじめとして、駅のデジタルサイネージなどを活用するとともに、ポスターやリーフレットにより、展覧会の開催案内を行ったことにより、多くの方に周知した。 また、戸定歴史館においては、増加する海外からの観光客等に対し、多言語（8ヶ国語）に対応した情報提供媒体等のインフラ整備を行うことにより、外国人に対しても案内をできるようにした。</p> <p>◎課題 メディアコンテンツの更新など、更なる内容の充実を図るとともに、さらに多くの市民が施設を利用し、また、催しに参加できるような情報発信手段を検討する必要がある。</p>	<p>・広報活動の推進 (担当課共通)</p>
<p>◎現状 生涯学習情報提供システム「まつどまなびいネット」の操作説明会の開催により、利用する団体が増えてきている。また「まつどまなびいネット」を広く知ってもらうため、公民館各種講座修了後などに案内を配布している。</p> <p>◎課題 「まつどまなびいネット」の利用者が固定化している。また、認知度が依然として低いことから、さらなる周知の徹底が必要。</p>	<p>・まつどまなびいネット (生涯学習推進課)</p>

<p>◎現状 地域新聞や各種団体が発行する資料、行政資料など、図書資料に限らず市民に役立つ各種資料を収集して情報の提供を行っている。</p> <p>◎課題 今後は、市民に身近な健康、医療、福祉、子育て等に関する個別具体的な情報を提供するため、各関係機関と連携して積極的な資料の充実を図ることが課題である。</p>	<p>・図書館管理運営事業</p> <p>(図書館)</p>
<p>◎現状 博物館の年間スケジュールを一覧できる『年間行事案内』、展覧会ポスター・ちらしを作成して市内外の学校やその他の機関、鉄道会社の駅等に掲示・配布したり、マスコミに情報提供を行っているが、必要な情報がうまく届いていないうらみがある。</p> <p>◎課題 より効果的な情報提供を進めるため、ホームページのデザインを検討するほか、SNS等のデジタルメディアの活用等、広報戦略について研究する必要がある。</p>	<p>・行事内容に即した対象者への情報発信の強化</p> <p>(博物館)</p>
<p>施 策</p>	
<p>(2) ICTを活用した情報提供促進</p>	
<p>現状及び課題</p>	<p>事業・担当課</p>
<p>◎現状 「まつどまなびいネット」を通じての情報提供や松戸市公式ホームページを通じてさまざまな学習情報の提供を行っているが、パソコンを持っていない、またはパソコンなどの使い方に慣れていない人への対応が難しい。</p> <p>◎課題 パソコンの操作講習会を開催するなどの対応が求められている。</p>	<p>・まつどまなびいネット</p> <p>(生涯学習推進課)</p>
<p>◎現状 デジタルサイネージ(電子掲示板)を導入して、情報提供の多様化を進め、システムリプレイスでスマートフォンでの蔵書検索・予約・照会等の機能やOPACにおいて、本の情報をわかりやすく見せる書影や、内容紹介表示を工夫した。</p> <p>また、松戸市立図書館のFacebookを始めている。情報の更新頻度など不十分ではあるが、情報発信の即時性、親しみやすさ、市民からの反応の速さなどSNSならではのメリットがある。</p> <p>◎課題 提供情報の充実や更新頻度を高め、図書館事業への理解の醸成を図り、図書館の利用の促進や図書館の支持につながるよう情報提供の工夫をすることが課題である。</p>	<p>・図書館管理運営事業</p> <p>(図書館)</p>

<p>◎現状 松戸市教育委員会所蔵美術作品等に関する情報を、いつでもどこでも見ることが可能とするため、市ホームページ上に「デジタル美術館」を設け情報提供している。</p> <p>◎課題 デジタル美術館のコンテンツを増やし広報活動を広げていく。</p>	<p>・デジタル美術館 (社会教育課)</p>
<p>施 策</p>	
<p>(3) 学習相談体制の充実</p>	
<p>現状及び課題</p>	<p>事業・担当課</p>
<p>◎現状 各課、個別の学習相談に応じているほか、博物館においては学習相談会の実施や、学校教育との連携に向けての相談体勢の確立に努めている。しかし、特に学習相談窓口として開設までは行っていない。</p> <p>◎課題 学習相談体制を充実させる方法として、相談会の開催、窓口の開設、個別相談での対応など様々な手法が考えられるが、一元的に行うことは難しいことから、各所属ごとの実態に即して考える必要がある。</p>	<p>・社会教育活動に資する学習支援体制の充実 (担当課共通)</p>
<p>◎現状 レファレンス相談窓口としてレファレンス専用デスクを設けた。落ち着いた相談できる環境に配慮したため相談内容が高度化した。</p> <p>◎課題 そのため、レファレンス経験が少ない職員では回答まで時間がかかることも多く、より一層、研修体制の強化などの人材の育成が必要である。</p> <p>また、レファレンス事例のデータベース化は取組み途中であり、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに公開し、「公開数」、「閲覧頻度」などの評価を得て国立国会図書館より表彰されることが目標である。</p>	<p>・図書館管理運営事業（レファレンスサービス） (図書館)</p>

基本目標3

➤ 学習者の学習成果を地域に生かす仕組みづくり

施 策	
(1) 地域の人材を発掘・育成し、活動を支援するシステムづくり	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 市民が自ら学んだ成果発表の場として修了生による新たな学習グループの立ち上げを支援し、連携して講座を開催しているが、参加者が多くてもグループへの加入に繋がらない。</p> <p>◎課題 地域活動に積極的に関わるリーダーとなる人材の発掘と育成。 新たな市民学習団体立ち上げの推進および自立促進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学習機会提供事業（自主企画活動支援） • 市民文化活動支援事業 • まちづくり人材育成支援事業 • (仮称) 社会教育実践研究発表・交流事業 <p>（生涯学習推進課）</p>
<p>◎現状 子どもの読書推進センターにおいて長年読み聞かせボランティアを育成した結果、多くの団体が図書館だけでなく地域で活動している。</p> <p>◎課題 今後はボランティア団体自らが活動を広げられるよう自立を促すことが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 幼児・児童の読書普及事業 <p>（図書館）</p>
<p>◎現状 松戸市民の文化創造の寄与や、多くの舞台芸術鑑賞機会の提供を目的として設立された公益財団法人松戸市文化振興財団に、運営費補助等の活動支援をしている。</p> <p>◎課題 文化創造の寄与や、多くの舞台芸術鑑賞機会を提供する自主事業の補助金額が減額傾向にある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文化振興財団運営費補助 <p>（社会教育課）</p>

施 策	
(2) 施設の整備及び施設連携や施設機能の活用方法の周知などによる利用促進	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 施設の老朽化により利用者への施設提供が難しくなっているが、貸し出し方法を見直したことにより利用者の利便性を図ることができた。 社会教育団体をはじめとした市民の主体的な学習活動や仲間づくりの場を提供しているが、利用者相互の交流が減りつつある。</p> <p>◎課題 大規模修繕が困難のため利用者に配慮したきめ細かな維持管理が必要である。 青少年会館では青少年の居場所として仲間や地域の人たちと触れ合うことができる社会教育の時間と場所を提供していくことが課題。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矢切公民館管理運営事業 ・ タウンスクール管理運営事業 ・ 青少年会館管理運営事業 ・ 文化ホール管理運営事業 ・ シティ・ミニコンサート開催事業 ・ 地域の居場所づくり促進事業 <p>(生涯学習推進課)</p>
<p>◎現状 施設の老朽化が進み、また狭隘な施設での制約条件により十分な図書館機能が発揮できないことが多い。今年度、研修環境を整備したことにより、様々な集会事業が可能になった。</p> <p>◎課題 今後は、市民向けの図書館利用講座を行うなどの事業により、多くの市民に図書館の活用法を理解していただき、新たな利用者増につなげることが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館管理運営事業 <p>(図書館)</p>
<p>◎現状 計画的に修繕や工事を行うことにより、常に市民に良好な状態で施設が提供できるよう努めている。 また、社会教育施設の整備と機能の充実として、図書館機能を中核とする市民の学びを支援する複合施設の整備について、社会教育関係課で視察を行う等、調査研究をしているところである。</p> <p>◎課題 大規模改修を実施するための事業費の確保や実施時期の見極めを行う必要がある。複合施設の整備については、街づくり部との連携が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民劇場管理運営事業 ・ 文化会館管理運営事業 ・ 生涯学習センター計画事業 <p>(社会教育課)</p>

<p>◎現状 施設の老朽化に伴い、緊急修繕を実施し、利用者の安全と満足がいくように維持管理を行った。</p> <p>◎課題 施設・設備とも老朽化しているので、更に利用者の安全と満足感を高めるために大規模改修が必要だが財政が厳しいので実施できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民会館管理運営事業 <p>(市民会館)</p>
<p>◎現状 本格的な茶道や句会等の文化芸術活動の場として、松雲亭を市民の利用に供しているが、近年では「カフェ戸定」など食を伴うイベント等の開催により、戸定邸・歴史館との相乗効果も見られている。</p> <p>設備面では、照明器具の交換修繕を行ったことにより、利用環境が一部改善されたが、施設の性格上、網戸やガラス戸(小間)がなく蚊等の侵入を防げないほか、エアコンもないため夏場の利用率が低くなっている。</p> <p>◎課題 松雲亭建設時は、お茶室としてのみ運営すればよかったが、現在は博物館の一施設となり、来館者が飛躍的に増加したため、運営の基本理念について再検討を行い、更なる有効活用のための環境整備を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・松雲亭管理運営事業 <p>(戸定歴史館)</p>
<p>◎現状 開館後23年が経過して展示内容がそのままの状態であり、また機器類の更新が進まずにいる。</p> <p>◎課題 常設展示に関しては、時代に応じたリニューアルに取り組む必要がある。また、21世紀の森と広場地域の利用者増をめざして、文化会館・公園管理事務所との事業連携を進める必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館管理運営事業 <p>(博物館)</p>
<p>施 策</p>	
<p>(3) 学習意欲を喚起し、自己実現を実感できるステージへの誘導</p>	
<p>現状及び課題</p>	<p>事業・担当課</p>
<p>◎現状 市民が自ら学び、継続して活動する学習グループの成果発表の場として市民自主企画講座の開催や、ふるさと発見創造講座では地域研究の成果品を製作するなど社会貢献活動に積極的に取り組む人が増えてきている。</p> <p>◎課題 学習グループを自立し主体的に活動させることや、共に学ぶボランティア活動促進につなげることが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習機会提供事業(各種講座開催) ・学習機会提供事業(自主企画活動支援) <p>(生涯学習推進課)</p>

<p>◎現状 社会教育関係団体である「博物館友の会」に学習の場と機会を提供し、協働で講座・講演会や体験教室等のイベントを実施してきたことには一定の評価を得ているが、会員数が漸減傾向にあるほか、大学生・高校生の利用は少ないのが現状である。</p> <p>◎課題 友の会との協働事業をこれまで以上に活発化するとともに、大学やNPO等の外部機関との協働事業を企画・推進することが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 博物館友の会支援・協働事業 (博物館)
<p>◎現状 松戸の四季を通じた「記念映像」の上映や、今までの人生でお世話になった人への感謝をテーマにした「新成人の主張」、式典中のイベントなど、新成人自らが企画運営した内容で成人式を実施している。 松戸市在住在勤美術作家に作品発表の場を提供にあたっては、森のホール21エントランスホールにおいてアトスペースを設営し「松戸の作家の個展」を開催することで情報を発信、市民の文化芸術活動の振興を支援している。</p> <p>◎課題 企画運営する新成人の確保や途中辞退者がいることによる運営難しさがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 成人式開催事業 • 美術文化関係事業 (地域美術振興支援) (社会教育課)

基本目標4

➤ 地域、学校、家庭が連携した青少年の学びの充実

施 策	
(1) 家庭教育の充実	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状</p> <p>全ての市立小学校に協力を得て、家庭教育学級を開設し、各学級の実態に合わせた学習会を、自主的、集团的、継続的に開催している。それらの学習会の支援を行っている。また、幼児や中学生の保護者対象の講座も開催し学習機会の提供および参加者の孤立感を解消し、生き方を考える場を設けている。さらに、親子でふれ合い楽しめる講座を開催している。</p> <p>乳幼児期の家庭教育のあり方について、研究・検討し、松戸市版幼児教育啓発パンフレットを作成し配布。</p> <p>◎課題</p> <p>家庭教育力向上のため、市長部局等との連携及び啓発のための講座の開催及び推進が課題。</p>	<p>・家庭教育力向上事業</p> <p>(生涯学習推進課)</p>
施 策	
(2) 地域、学校、家庭の連携事業の促進	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状</p> <p>現在、小金北中学校区(小金北中・小金北小・殿平賀小)と牧野原中学校区(牧野原中学校・松飛台小学校)において、それぞれ「体験活動」と「学習支援」を中心に活動が行われている。</p> <p>◎課題</p> <p>課題としては、学校と地域の調整役として中心的な役割を果たすコーディネーター等の人材確保が課題として挙げられる。</p> <p>また、さらに「学校支援活動」の幅を広げていくためには、他校の取り組みも参考にすることが必要であると考えられるため、学校ホームページの充実など各学校が自校の活動を内外に発信できる環境を整えることも課題である。</p>	<p>・学校を核にした地域コミュニティづくり事業</p> <p>(教育企画課)</p> <p>(社会教育課)</p> <p>(生涯学習推進課)</p>

<p>◎現状 地域や学校に出向きお話し会などを行っている。</p> <p>◎課題 学校向けの貸出セットの充実や学校司書との情報交換など学校との連携を進めているが、学校貸出の物流システムの充実や学校司書や司書教諭との研修会や情報交換会など、連携のための仕組みづくりが課題である。</p>	<p>・幼児・児童の読書普及事業</p> <p>(図書館)</p>
施 策	
(3) 多様な学習、体験活動の充実	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 集団活動の場、自然体験、勤労体験等、多様な体験の機会を提供しており、多くの子どもたちが参加しているが、地域や家庭との関わりの減少や中高生の参加者が少ない現状である。</p> <p>◎課題 利用者相互の交流や、親子で参加できる教室、中高生の参加促進が課題。</p>	<p>・青少年会館学習機会提供事業</p> <p>・青少年活動支援事業</p> <p>(生涯学習推進課)</p>
施 策	
(4) 青少年活動を支援する指導者養成に向けた学習機会の提供	
現状及び課題	事業・担当課
<p>◎現状 青少年が自発的、主体的に活躍できるよう指導者の養成と指導者の交流の機会を提供しているが、各団体等がそれぞれ活動している。</p> <p>◎課題 各団体や指導者等との連携が課題。</p>	<p>・青少年の社会教育活動支援事業</p> <p>(生涯学習推進課)</p>